

# 桜かき丘



## ブラジルのことがよく分かりました ～さわやか発表【1年生】～

大阪・関西万博は閉幕しましたが、松崎小学校ではもう一度万博を味わうことができました。1年生がブラジルについて調べたことを、資料や実演で全校生にプレゼンしてくれました。ブラジルの学校の様子や食べ物、遊びなどをくわしく説明してくれたり、クイズをしてくれたりするなど、ブラジルに行ってみたい気持ちにさせてくれる発表でした。



## 全校集会の話

### <根っこの話>

「ライ麦の根の長さの合計は、どれぐらいだと思いますか？」

- ①50cm ②2m、校長先生より少し高いぐらいです。
- ③1キロメートル…学校からピカソぐらいまでです。
- ④5km よりも長い。

正解を発表します。答えは④の「5キロメートルより長い」です。では、どれぐらいの長さだったのでしょうか？ 20cmのライ麦の根の長さは、……なんと「11200cm」ではなく、「11200km」です。ここから日本を飛び出して、アフリカにあるマダガスカルという国までの距離とほとんど同じです。めちゃくちゃ長いですね。実は、この話は『生きるヒント』という本に書いているのですが、著者の五木寛之さんは次のような思いを書かれていました。

「風にそよぐ一本のライ麦が、その貧弱な生命をささえるために一万一千二百キロメートルの根を目に見えない土中に張りめぐらし、そこから必死で生命の糧を吸いあげつつ生き続けているとはじつに感動的ではありませんか。」私もこの話を初めて聞いた時はとても驚き、すごいなあと感じました。

もうひとつ根っこの話題で話をします。相田みつをさんの有名な言葉の一つに、「夢はでっかく 根はふかく」という根のことが書かれたものがあります。ふだん、目に見えませんが、「大きな木」は地中深くまで根を伸ばしているものです。そもそも根っこが短いままなのに、そのまま大きな木になろうと枝を伸ばしたら、重すぎて倒れてしまいます。相田さんの言葉の意味は、「大きな夢を持ちたいのなら、根が深くならなければいけない。反対に根が深くなればなるほど、夢も大きくなる」ということです。

生きているすばらしさを感じ取り、今、できることに一生懸命取り組み、でっかい夢をかなえるための根を育てていけるよう、いっしょに頑張っていきましょう。

